

令和元年12月1日に民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、2010名(内、新任530名)の方々が任命されました。民生委員・児童委員は県の非常勤特別職に位置づけられ、地域住民の身近な相談相手として「困り事を抱えた住民」と「行政や専門機関など必要な支援」のつなぎ役となるなど、地域にとって重要な存在となっています。平成29年には民生委員制度創設100周年という大きな節目を迎え、100年間の総括を行うとともに、民生委員・児童委員制度の現状と課題等をふまえた今後の活動の重点が次のとおり提示されました。「地域のつながり、地域力の強化」、「さまざまな課題を抱えた人びとの支援」、「民生委員・児童委員制度を守り、発展させていく」これらの重点項目をふまえて、「誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会づくり」のための活動を行っています。

徳島県社会福祉協議会は、民生委員・児童委員の方々と共に県民一人ひとりがお互いに支え合いながら、身近な地域で、その人らしく安心して生き生きと暮らせる福祉社会の実現を目指していきたいと考えております。

# とくしま 福祉広報 201号 march.2020

**社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会**  
770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内  
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250  
e-mail: info@e-fukushi.jp http://fukushi-tokushima.or.jp/

令和2年2月4日「新任民生委員児童委員研修会」を開催しました。新しく民生委員・児童委員に任命された方等を対象に、地域住民の福祉向上に寄与することを目的として、民生委員・児童委員としての役割並びに心構え、実務等についての研修を行い、465名の方々にご参加いただきました。

## 新任民生委員 児童委員研修会



●講義  
美作大学 生活科学部  
社会福祉学科  
学科長  
小坂田 稔 氏

Ripple リプルとは、波紋のことです。この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

# ひと

ボランティア・NPOの情報紙  
50号 march.2020

**とくしま県民活動プラザ**  
770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地  
沖洲マリンターミナルビル1F  
tel:088-664-8211 fax:088-664-5345  
e-mail:info@plaza-tokushima.com  
http://www.plaza-tokushima.com  
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日、年末年始)



## NPO法人 生涯現役応援隊

「NPO 法人 生涯現役応援隊」は、高齢者サロンや居宅介護支援を中心とした活動をしている団体です。みんなで一緒に体操をしたり、歌ったり、お話をしたり、時には学びの時間を持ってみたいと色々なことをしています。サロンを通して、笑顔と健康づくりの場を提供している皆さんの思いや活動内容をご紹介します。



ひと50号 march.2020 **CONTENTS**

**特集** NPO法人 生涯現役応援隊  
自分を支えてくれた地域の方々へ恩返し

**ひと** 知ることは一期一会  
免疫療法懇談の会 矢武 秀生さん

**シリーズ** この人から  
「YOU プロジェクト」  
NPO 法人エコロジカル・ファーストエイド 佐藤 貴志さん

**ハートリレー**  
No.50 秋山さんから小川さんへ

**地域の中での自分の居場所づくり**  
人生 100 年時代  
「自主性を育てる教育」 古川 明美さん

**子どもたちのボランティア活動**  
地域の方々と交流し、地域とともに  
徳島聴覚支援学校 中学部



# NPO 法人 生涯現役応援隊



## 自分を支えてくれた地域の方々へ恩返し

かわの きみえ  
理事長 川野 公江さん

私は元々、神山町役場の保健師として、30年近く働いてきました。そして、ずっと地域の人たちに支えられてきたんです。

例えば、仕事で自宅訪問するとき、詳しく家が分からないことがよくあって、地域の人に案内してもらったり、お昼時には、お弁当を食べさせてもらったり、本当にお世話になりました。そういうお世話になった方々が、今、80歳、90歳近くになり、介護が必要になってきています。この状況を見たときに、「まだまだ自分には余力があるな、お世話になった皆さんに何か恩返しができたら…」と思い、神山町からのバックアップを受け、2015年に「NPO 法人 生涯現役応援隊」を設立しました。

現在の主な活動としては、火曜日と木曜日、金曜日の午後にはサロンを開き、体操やお茶会をしたり、歌を歌ったりして、私も皆さんと一緒に楽しく活動しています。

また、ワンポイント講座という形で、介護予防や健康づくりの知識など、話やレクリエーションを通して、身につけてもらえるよう工夫しています。

それと並行して居宅介護支援事業所をやっている、本人や家族の要望を伺いながら、ケアプランの作成や見直し、訪問等を行っています。

今でこそ、のんびりとやらせてもらっていますが、最初の1～2年は本当にハードでした。職員同士、理解し合っている中でも、ボランティアというものの考え方や、お互いの意見に

ズレが生じたり、なかなか思うようにいかなかったりと、葛藤していた時期もありました。

それでも、ここまでやれたのは、「やりたかったから」です。あの時お世話になった人が、今もこんなに元気でいてくれて、笑顔を見せてくれる。こんなに嬉しいことはないです。「ありがとう、また来週来るね」、この一言が、私のエネルギーの源です。

今後の目標は、今、働き盛りの人が、ある程度の年齢になってきた時に、自然と「応援隊」へ来ていただける、利用してくれるようになることです。そして、県内外の多くの人に「応援隊」の活動を知ってもらい、もっと各地域で、高齢者が気軽に集まれるような居場所を作ってくれれば、とても嬉しい、ありがたいです。

これからも、「夢・笑顔・支え合い」をモットーに、自分を支えてくれた地域の方々への恩返しという形で、続けていきたいなと思っています。



(取材：篠原・秋月)

特定非営利活動法人 生涯現役応援隊

理事長 川野 公江

住所：〒771-3203  
徳島県名西郡神山町鬼籠野字川東 119 番地  
TEL：050-2024-4988 FAX：050-2024-4988  
E-mail：npouentai@mb4.tcn.ne.jp

NPO 法人生涯現役応援隊では、事業所(神山町の旧鬼籠野幼稚園)にて、ボランティアの皆さんと共に次のような活動を行っています。



どのサービスも、訓練的な内容を取り入れることで、ケアプランが達成できるように心がけています。

### やまびこ サロン



開催曜日 / 木曜日 (13:30～)

開催内容 / 会話や交流を楽しむとともに、健康チェックをしたり、歌を歌ったり、ゲームや工作をすることで、介護予防・認知症予防に努めています。高齢者のみなさんが、住み慣れた地域の中で、支え合い、安心して楽しく暮らしていけるための集いの場です。

### ほっと カフェ



開催曜日 / 金曜日 (13:30～)

開催内容 / 認知症に対する不安がある方や、認知症予防のため、心地よい音楽と共に居心地の良い空間でお茶を飲んでます。昔のことを思い出して話し合う回想法を取り入れ、参加者といっしょに楽しい時間を過ごしています。どなたでも、自由に参加できる集まりの場です。

### アイ・アイ サロン



開催曜日 / 火曜日 (13:30～)

開催内容 / いきいき百歳体操・ゲーム・音楽レクリエーションを通じた体力づくりや介護予防の取組を行っています。合間のティータイムでは、会話や交流を楽しんでおり、参加者は30人程と大人気です。神山町在住で参加ご希望の方は、ぜひ一緒に活動しませんか。お待ちしております。

●サロンに関するお問い合わせは  
神山町地域包括センター tel.088-676-1185

### 利用者さんの声

みんなと話ができるのが楽しくて、いつも来るよ。

身なりに気を遣うようになった。

出かけるきっかけになっとる。

もう、生活の一部になっとる。

何をするのが、いつも楽しみじゃ。







# 知ることとは一期一会

今回は、「免疫療法懇談の会」アドバイザーの矢武秀生さんにお話を伺いました。免疫療法懇談の会は、平成20年から奇数月の第3日曜日に、とくしま県民活動プラザで定例会を開催しています。2か月毎にお会いする矢武さん。笑顔の中の真摯な眼差しが印象的です。今回は、どんなお話をお聞きできるのでしょうか。

矢武さんが、免疫療法に関わるきっかけになったのは、ご家族の闘病生活の経験から、がんの発生理論は一体何なのか知りたいと思ったことだそうです。それから、独学で医学書や専門書を調べ、最終的に免疫学に辿り着いたそうです。

しかし、免疫を知るには、専門用語や理論が難解で思案に暮れたそうです。どうしてもこれらを理解したい矢武さんは、自分の学んだことをまとめては、免疫学に詳しい知り合いの医師に見てもらい、意見を求めたそうです。そして、間違いを指摘されたら、また、調べ直すということを繰り返し、免疫学にのめり込んでいったとおっしゃいました。

日々、免疫療法について研鑽されている矢武さんですが、定期的で開催している定例会では、ハスミワクチンを中心にすえ、丸山ワクチンや免疫細胞療法などの内容を説明し、参加者の質問や相談に答えるほか、がん、アレルギー、自己免疫による病気などの発症の原因とメカニズムや、現代の医療において、完治不可能と考えられている病気に、どのようにアプローチすれば完治可能となるのかを事例も交えて具体的に紹介しているそうです。

これまでに前立腺癌、再発乳癌肝転移、脳腫瘍、胆管癌などの消失。アトピー、喘息、花粉症の治癒。メニエル氏病、B型劇症型肝炎、リウマチ、1型糖尿病の治癒。B型慢性肝炎の強ミノ離脱、潰瘍性大腸炎のステロイド離脱。後縦靭帯骨化症、変形性肘関節症の治癒。卵巣嚢腫の消失、子宮内膜症治癒などの効果も見ているそうです。また、希望者には電話の相談活動もされており、一人ひとりの声に耳を傾け、心に寄り添うことが大切なのだとお話を聞きながら感じました。

矢武さんに活動を続けていく原動力は何かとお聞きしたら、「自



免疫療法懇談の会  
アドバイザー 矢武 秀生さん

● 連絡先  
TEL: 090-6285-8314  
メール: hiroaki12@ma.pikara.ne.jp  
http://www.pikara.ne.jp/hiroaki12/hasumi1.html

分が知らないことを知るの、面白いし楽しい。」と笑顔で話してくださいました。また、「分からないことをそのまま放置するのではなく、知るために調べる、情報を得るために何らかのアクションを起こすということがとても大事。私の提供する情報も選択肢の一つとして知ってほしい。知った情報や知識は、自分の宝になる。」と、何度もおっしゃっていました。

そんな矢武さん、今後の展望は、「免疫療法懇談の会」の後継者を育てていき、多くの方に自分たちの活動を知ってもらいたいそうです。そのために、自分自身はオブザーバーとなり、尽力していきたくと力強く語ってくださいました。

そして、「病気のことで教えてほしいとか、助けてほしいという声には、全力で対応する。」と切り切った姿には、強い信念を感じました。

知ることの難しさを知る矢武さん。「知ことは一期一会」だと。免疫療法に巡り合った方が、救われることを願って、矢武さんの学びはこれからも続くことでしょう。

(取材：丸山・片岡)

## シリーズ この人から

# YOU プロジェクト

NPO 法人エコロジカル・ファーストエイド 理事長 / 研究員 佐藤 貴志



YOU プロジェクト  
水質浄化装置 YOU (特許第604721号、第5192608号ほか)  
環境浄化微生物などの技術提供 / 培養、活用など / 親子でできる自然界への応急手当、親子で参加する環境学習・講演など

当団体は、水質・大気・土壌等の環境回復を専門とする団体とよく言われます。実際に技術を有してはいますが、開発コンセプトはファーストエイド(誰でもできる応急手当)です。参加者は、「初めて」から主人公となり、技術以上の力を生み出します。それは、「持続できるまちづくり」です。持続できる社会とは、一人ひとりが地域の課題を自分事として受け止め、共に考えることから始まります。

YOU プロジェクト(以下「PJ」)は、あなた一人ひとりが主人公となり、仲間と認め合える場を作ります。この雰囲気はすばらしく楽しく、力を発揮できる空間となります。

また、参加者とPJとの間にWin-Winの関係を構築します。Winとは、利益、友人、人の繋がり、PJから得られる日々の成長等、Winの形は人によって様々です。対してPJのWinは参加者の活躍です。そしてこの関係は、社会に恩恵を生むトリプルWinを目指します。PJから生み出す住民の幸せの数を意識することで、あたたかいコミュニティと持続できる社会が見えてきます。

子どもたちに課題を残すのではなく、今を生きる僕たちが動くことが大切です。あなたもPJの主人公になってみませんか?

## 「ゆめバンクとくしま」寄付による助成事業報告

「ゆめバンクとくしま」では、団体、個人からのご寄付により、社会貢献活動を支援しています。今回は、令和元年度の活動(その2)です。

● ひだまり  
「おやかで楽しむひだまりの会 2019」

妊婦や親が、人と自然にふれあいながら、肩の力を抜いて過ごすことで、心に余裕をもって子育てができるようサポートしている。



● 特定非営利活動法人牟岐キャリアサポート  
「英語で地域を元気に! 中学生による伝統、文化応援プロジェクト」  
牟岐中学校の中学生とともに、「あんどん」の制作風景を映像化し、英語の解説を付けたビデオを作製、サマースクールのワークショップで活用した。また、出羽島アート展で利用可能な英語解説の動画等を作成する。  
(写真上: 英語解説の動画作成の様子)



## イベントガイド

令和2年度貸メールボックス・ロッカー利用団体募集!



各団体宛のチラシ等を受け取ることができるメールボックスや、会議や作業に使う資料・用紙・文具等を入れておけるロッカーを1年間無料でご利用できます。(1年ごとに更新可能)

利用を希望する団体は、プラザに団体登録後、申請してください。※令和2年度も継続利用される団体は、3月末で期限が切れますので、更新の手続きを行ってください。団体登録、ロッカー等の申請はプラザHPをご覧ください。

### NPO法人の皆様へ

とくしま県民活動プラザでは、次の事柄について対応しています。土曜日・日曜日でも、祝日でも、開館日は受け付けていますのでご利用ください。

- NPO法人の申請・届出に係る相談
- NPO法人の管理運営に関する相談
- NPO法人の事業報告書の提出

事業報告書については、主たる事務所が次の市町村にあるNPO法人に限ります。徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町

※その他の市町に主たる事務所があるNPO法人については、南部圏域は、南部総合県民局又は那賀町役場、西部圏域は、西部総合県民局又は美馬市役所へご提出ください。



## ハートリレー

No.50 秋山さんから小川さんへ



小川直樹写真事務所

おがわ なおき  
小川 直樹さん

### 郷土の良さをたくさんの人に伝えたい

高校、大学と「カメラ女子」でした。故郷・鳴門の風景や友人の笑顔撮影する瞬間が私の「青春」でした。数年前、当時の勤務校に撮影に訪れた写真家・小川直樹さんと出会いました。大谷焼に関わる地域の方々と小学生を撮影した広報誌「鳴門やけんな」は心温まる写真でまとめられ、故郷・鳴門への深い愛を感じました。ボランティア活動にも力を入れられ、ケーブルテレビで放映される「鳴門風景散歩」では市内各所をドローンで撮影し、多くの視聴者に感動を与え続けています。最近では鳴門市内の小学校にドローン撮影した映像を携え地域学習の授業を行われています。巧みなトークと圧巻の映像で子ども達を魅了し、「小川さんみたいになりたい!」とファン急増です。自分達の住んでいるところはこんなにも美しいと多くの人に知って欲しい、美しい鳴門の風景を子ども達に見せたい。これが小川さんの原動力です。師匠、いつも感動をありがとうございます。今年こそ私も「カメラ女子」復活です!

あきやま まさよ  
文・秋山 真代



## とくしま県民活動プラザ

●プラザ開館時間  
開館時間:10:00~18:00  
【研修室利用時間】  
火曜日~土曜日:10:00~21:00  
日・祝日:10:00~18:00  
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、  
年末年始



### ●公共交通機関をご利用の場合●

- JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
- 「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ
- 「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

### 編集後記

食べ残し、売れ残りや期限が近いなど様々な理由で、食べられるのに捨てられてしまう食品「食品ロス」。日本の食品ロス量は、年間600万トンを超え毎日、大型トラック(10トン車)約1,700台分の食品が廃棄されているようです。そこで私も、大切な食べものを無駄なく食べきろうと思い、今まで捨てていた食材で、あれこれ献立を考える毎日です。大根と人参の皮のきんぴらはお弁当のおかずにもピッタリ。食パンの耳で作ったラスクは最高に美味しい! 柚の皮は冷凍して、柚茶、ピール、酢の物、種は化粧水と大活躍。今まで捨てていた皮や端っこ食材でこんなにも美味しいものが出るなんて、作る度に感動です。(橋本)

## 地域の中での自分の居場所づくり

### 人生100年時代「自主性を育てる教育」

徳島文理大学保健福祉学部人間福祉学科准教授 古川 明美

人生100年時代に必要な、健康づくりに、元滋賀県知事の國松義次さんが、100歳まで健康に過ごすため滋賀県で日本初の「100歳大学」を開催しています。滋賀県は、厚生労働省平成27年都道府県生命表で、男性平均寿命が全国第1位(81.78歳)、女性は全国第4位(87.57歳)です。これも「100歳大学」で高齢者が健康づくりを学び地域で活動しているからではないでしょうか。自ら健康づくりに取り組み、健康寿命を延伸できれば最高です。

「100歳大学」では「運動」、「食事」、「社会参加」を主に学び、中でも「社会参加」は人との繋がりが学びの決め手と言われています。地域の繋がりが作りは、簡単ではありませんが、「100歳大学」で学んだ高齢者が先頭に立つことで、地域は活性化します。皆様の地域でも「100歳大学」を開催し、住民の自主性を育ててみませんか。



### 子どもたちのボランティア活動

### 地域の方々と交流し、地域とともに

徳島聴覚支援学校 中学部

「車来たよ〜!」引率の先生たちは声と動作で、すぐそばを車が通ることを伝えます。拾いにくい場所のごみにも一生懸命手を伸ばし、みんなで力を合わせてごみを拾う生徒たち。とてもいい顔をしています。「楽しい!」と笑顔で答えてくれました。

中学部では年に2~3回、学年ごと3グループに分かれて学校周辺のごみ拾いをしています。

徳島聴覚支援学校では、平成26年に移設してきたことを機に、地域活動を積極的に行っています。地域の方々と一緒に合同防災訓練を実施したり、「徳島聴覚支援学校のことを知っていますか?」などとインタビューに行ったりとさまざまな形で地域の方々と交流をしています。また、自分たちで考案・作成した、想いがいっぱい詰まった『徳聴新聞』を発行し、近隣の公共施設や商店等に配布し、掲示してもらっています。近所の方から「ゴミを拾ってくれてありがとう」と話かけてもらうとすごく嬉しくて、人や地域の役に立てるような人になりたいとの思いが一層強くなっているようです。



### 徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人  
徳島県医師会

会長 齋藤 義郎  
徳島市幸町3丁目61番地  
TEL 088-622-0264

### CLEANUP 吉野川をきれいに! 参加団体、募集中。



吉野川交流推進会議  
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地  
県民環境政策課内  
TEL 088-621-2743  
FAX 088-621-2758  
E-mail office@yoshinogawa.org  
http://www.yoshinogawa.org/



# ふくしと私



医療法人 敬老会  
老人保健施設

ユート

主任 清家 由美子  
せいけ ゆみこ

祖父が脳卒中で倒れ、祖母を中心とした自宅での介護が始まりました。私はこの時小学生でした。寝たきりの祖父と介護に頑張る祖母の姿を見て過ごし、私に「ふくしの種」が蒔かれました。

そして、芽が育ち、私はこの場所に辿り着きました。高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みとして介護保険が創設され、一九九七年に介護保険法成立、二〇〇〇年に介護保険法が施行されています。

私が働いている介護老人保健施設は、医療ケアやリハビリを必要とする要介護状態の高齢者を受け入れています。食事や排泄の介助といった介護サービスは勿論、主に自宅などに戻るためのリハビリが中心です。「在宅復帰」を実現するために様々な専門職が力を合わせて取り組んでいます。その中で、利用者の方から「やっぱり家が一番よ」「慣れた所がいいな」との言葉が聞かれます。



ふれあい祭り



施設風景

高齢者の方の中には、可能な限り住み慣れた地域や自宅で日常生活を送ることを望まれる方が多くいます。その望みを叶えるためには私たちに何ができるか考えなくてはなりません。二〇二五年を目途に整備が進められているのが「地域包括ケアシステム」です。このシステムは地域における「住まい」

「医療」「介護」「予防」「生活支援」の5つのサービスを一体的に提供できるケア体制を構築することで

私の所属する敬老グループは同敷地内に病院・老人保健施設・グループホーム・特別養護老人ホーム・地域密着型特別養護老人ホームがあり、その方お一人お一人

人にとって最適なケアの提供が可能で、利用者の方の立場になり、共に考え、共に歩み、共に笑顔になるために多職種が協働しています。

地域の方と共に創り上げる年に一度の「ふれあい祭り」は、開催が二〇回を超え、毎年五〇〇名余りの方との交流の場の一つとなつていきます。また、ユート開設以来毎月一回続いている保育園との交流会、お誕生会、ふれあいきいきサロン「AEL」などを地域の方々と共に開催させていただきます。

地域にとって何でも相談できる身近な存在であり続けるために、「二つの出会い」「人と人の繋がり」を大切にしていきたいことが私たちの使命であると思えます。

私は、「誰かのために」が「自分の糧に」、「誰かの喜び」が「自分の喜び」になることが私にとっての「ふくし」だと思っています。

## 子どもの笑顔∞まけまけいっぱい ～子どもが真ん中の社会を目指して～



徳島県私立保育園連盟では、令和3年6月に徳島県において開催する、第64回全国私立保育園研究大会徳島大会の成功にむけて、実行委員会を立ち上げ、準備を進めています。

現在、保育の現場では、子どもの育ちや子育てにかかわる不安定な社会状況の中で、仕事と家庭の両立、子どもの貧困、児童虐待の増加などに対する取り組み等、保育施設が果たす社会的な役割が一層重視されています。

そのような中、私たちは、日々の生活そのものを大切に、保育の質を高めるための試行錯誤を重ねてきました。そして積み重ねてきた実践の中には、一貫した、変わらぬ子どもへの思いがあります。

徳島大会では、子どもの笑顔∞まけまけいっぱい(子どもの笑顔が無限大に溢れ出す)社会の実現のため、子どもの取り巻く課題を見つめ直し、保育のあり方を共に考え学ぶ機会とします。

● 期日 令和3年6月16日(水)～18日(金)  
● 会場 アステイとくしま他

### ありがとうございます

**預託 申し出一覧**

- 一般社団法人生命保険協会徳島県協会様、徳島県に働く生保の仲間様より、北島町社会福祉協議会へ福祉巡回車1台、障がい者を支援する3団体へ活動資金の御寄贈
- 公益財団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会徳島県協会様より、牟岐町社会福祉協議会へ福祉巡回車、9施設へ車いすの御寄贈
- 株式会社セブン-イレブン・ジャパン様より東みよし町社会福祉協議会及び石井町社会福祉協議会へ閉鎖店舗の在庫商品の御寄贈
- 公益財団法人徳島県文化振興財団様より県内社会福祉施設関係者へ観劇・演奏会の御招待
- みちのくエンタテインメント有限公司様、音瀬泰彦税理士事務所様、有限会社フクタク様より、福祉関係者へみちのくプロレス徳島大会への御招待
- 明治大学校友会徳島県支部実行委員長様より、福祉関係者へ第36回明治大学マンドリン倶楽部徳島チャリティ演奏会の御招待
- 一般社団法人全日本司厨士協会四国地方徳島県本部様より、たちばな学苑へ料理の御提供

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和2年度

# ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

保険金額・年間保険料(1名あたり)

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは  
コチラ  
(ふくしの保険ホームページ)



<基本プランに加入される方へ>  
基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。  
◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。  
※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとして、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

保険金の種類	プラン	
	基本プラン	天災・地震補償プラン
死亡保険金	1,040万円	
後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
入院保険金日額	6,500円	
ケガの補償	手術 入院中の手術	65,000円
	保険金 外来の手術	32,500円
通院保険金日額	4,000円	
地震・噴火・津波による死傷	X	O
賠償責任	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)
年間保険料	350円	500円



ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

損害保険ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になりました。

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

地域とお客さまの「ベストパートナー」へ



阿波銀行  
http://www.awabank.co.jp/

ともに未来へ  
~ to the future with ... ~



徳島大正銀行  
トモニホールディングス



# 災害ボランティアセンター体制整備支援事業

近年、大規模な自然災害が全国各地において発生するなか、被災地では、地域住民や、多様なボランティア・支援団体等と連携したきめ細やかな生活支援が進められています。

徳島県社会福祉協議会では、地域の住民や多様な職種・機関との連携によって、地域の福力向上に進めながら、災害時の支援体制づくりにも取り組んでいます。



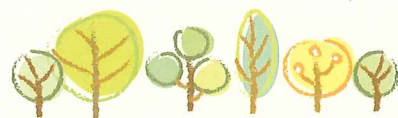
## 西部ブロック(三好市)合同研修会・サテライトセンター設置運営訓練

- 開催日 令和元年12月8日(日)
- 場 所 三好市池田総合体育館
- 参加者 三好市民・西部ブロック社協職員など(116名)

合同研修会に先立って、災害ボランティアセンターの支所的な役割を担うサテライトセンターの設置・運営訓練を三好市内5地区で地域住民と協働で開催した後、災害ボランティアセンターの適切な設置・運営を共有する合同研修会を開催しました。

昨年の豪雨災害で甚大な被害が発生した岡山県からの支援状況の報告や、平時から備えるべき取り組みを参加者で協議・検討を行い、今後の取り組みに何が必要か、どのような準備が必要かについて学びました。

〈講師〉災害ボランティア活動支援プロジェクト 山崎 水紀夫氏



## 南部ブロック(阿南市)合同研修会・サテライトセンター設置運営訓練

- 開催日 令和元年11月10日(日)
- 場 所 阿南市科学センター
- 参加者 阿南市民、南部ブロック社協職員など(84名)

自然災害発生時、屋根のブルーシートや床上・床下浸水対応などの専門技術を伴う支援ニーズ対応が急増する中、プロボノと呼ばれる職業上持つ知識やスキル・経験を活かして、応急処置も含めた技術的な災害対応ができる技術系の支援者が不足する現状があります。

このような中、災害ボランティアセンターの職員として、特に近年、プロボノへの支援ニーズが高い「浸水処理」や「ブルーシート張り」についての基礎的知識を修得するとともに、行政や事業者などと連携しながら地域のコミュニティーの再生や街づくりなど復旧から復興への安全かつ円滑に関わるプロボノ活動への理解を深める機会となりました。

〈講師〉特定非営利活動法人 災害救援レスキューアシスト  
代表理事 中島 武志 氏



# 子ども民生委員活動推進事業

徳島県発祥の「子ども民生委員活動」は、子どもたちが主体となって地域生活課題を発見し、その課題解決に取り組む中で、子どもたちに「平和と福祉の心」を根付かせることを目的とした活動です。

平成29年に民生委員制度創設100周年を迎えるにあたり、子どもたちが地域から学び、地域から育つ、地域づくり・まちづくり活動につながるよう「子ども民生委員活動推進モデル事業」を実施。平成30年度からは「子ども民生委員活動推進事業」として、県内各地での取り組みが広がっています。

## 吉野川市川島地区民生委員児童委員協議会 (吉野川市川島地区子ども民生委員事業)

**内容**  
小学校で民生委員・児童委員による民生委員活動についての授業を実施。  
ひとり暮らし高齢者へ小学校表現会の招待状を配布し、表現会に参加した高齢者と交流を図る。  
中学校での合同発表会で、子ども民生委員活動で学んだことや感じたことを発表。

**目標**  
活動についての授業や世代間交流の機会をもつことで、地域社会及び民生委員活動への理解と関心を深め、ボランティア精神の醸成を図る。



## 三好市山城地区民生委員児童委員協議会 (子ども民生委員ごみゼロ運動事業・子ども民生委員特殊詐欺防止啓発事業)

**内容**  
山城地区の小学校2校にて、民生委員・児童委員より民生委員活動の説明をし、活動内容を知ってもらう。また、地域のごみゼロ活動や特殊詐欺への啓発活動を通じて地域課題を知るとともに、民生委員及び地域住民との交流の機会をもつことで、民生委員活動の理解を深めてもらう。

**目標**  
地域福祉に対して理解と実感を得て地域とのつながりを感じ、その一員であることへの自覚を高め、“自分たちの町は自分たちで守る”との意識を高めてもらう。



## 那賀町民生児童委員連絡協議会 (地域との触れあい活動事業)

**内容**  
小学生とともに施設を訪問し、地域の見守り活動を体験してもらう。  
子どもまつりにて、親子の触れあいを通じて活動を知ってもらう。  
歳末慰問で、中学生とひとり暮らし高齢者宅に訪問し、地域で暮らす高齢者との交流を図る。

**目標**  
子どもの頃から地域への関心が持てるように民生委員活動を体験することで、地域の見守りの大切さや必要性を感じてもらい、明るいまちづくりへ繋げていく。

